## 1. 実施機関

国立大学法人岡山大学

## 2. 企画名

科学先取りグローバルキャンパス岡山

## 3. 総合評価コメント

実施体制について、学内に運営組織を立ち上げ、学内の体制整備に取り組んでいた点は評価できる。また、グローバルに活躍できる基礎能力の修得を目指す、一次選抜後の「先取り基盤コース」では受講生に対して研究者倫理やデータの扱い方等の科学リテラシー教育を丁寧に施すことで科学者としての姿勢を着実に身につけさせていた。ルーブリックを受講生と共有することで、受講生自身の目的意識を醸成しつつ、受講生の自己評価を担当教員が把握しながら個人面談で受講生をフォローするなど、きめ細かな指導を行っていた点も良い。複数の実施機関と合同のシンポジウムを開催し、受講生に多様な交流の機会を与え、広い地域での連携の可能性を広げた点も評価できる。一方、二次選抜後の育成について、受講生の興味・関心に基づく研究テーマの設定には不十分な点があった。また、基礎能力の育成から飛躍した、より高度な水準の取組内容および研究指導へ改善する余地があった。

今後、全学的な実施体制の構築と自立的な継続、積極的な情報発信等による企画の成果・教育プログラムの社会への普及・展開、および本企画の内容を検証した、個々の受講生の興味・関心に基づく幅広い研究テーマでの研究活動推進等、発展的な展開を期待する。